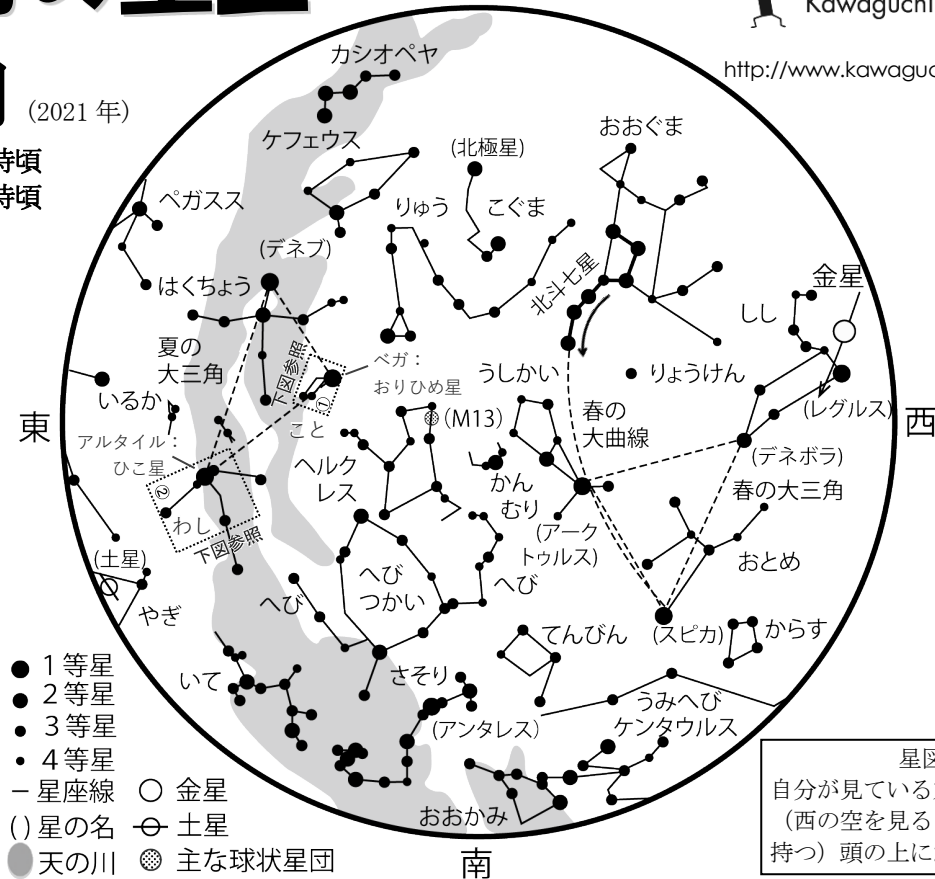


今月の星空

7月 (2021年)

上旬 21 時頃
下旬 20 時頃



星図の見方
自分が見ている方向を下にして、
(西の空を見るときは西を下にして
持つ) 頭の上にかざして見ます。

月 齢 ●下弦 2日・31日、●新月 10日、●上弦 17日、○満月 24日

惑星情報

金星 夕方 西 (かに→しし座 -4等) 火星 夕方 西 (かに→しし座 2等) ※中旬まで
木星 真夜中 南東 (みずがめ座 -3等) 土星 真夜中 南東→南 (やぎ座 0等)

★夏の星座到来

例年、梅雨が明ける7月後半、春の星座が西に傾き、夜空の主役は夏の星座に移っていきます。まずは、七夕の星を見つけてみましょう。東の空にある夏の大三角が目印で、こと座のベガがおりひめ星、わし座のアルタイルがひこ星です。南の空には、夏を代表するさそり座が見つかります。赤い色の1等星アンタレスと明るい星でできる釣針(S字)に似た並びが特徴です。夜遅い時間になれば、南東方向に、存在感のある土星と木星が見られるようになります。その他、さそり座周辺のへびつかい座やてんびん座など、神話や成り立ちが興味深い星座もあるので、図鑑などで調べてみましょう。

★七夕の「おりひめ星」と「ひこ星」ってどんな星？

【おりひめ星】(はた織りをする天帝の娘。中国では織女(しょくじょ))…こと座のα星ベガ。白く輝く0.0等級の星で、夏の星座一の明るさを誇ります。地球から約25光年の距離にあり、太陽の約3倍の大きさ。ベガの周囲には太陽系と似た小惑星帯が観測され、惑星の存在も予想されています。

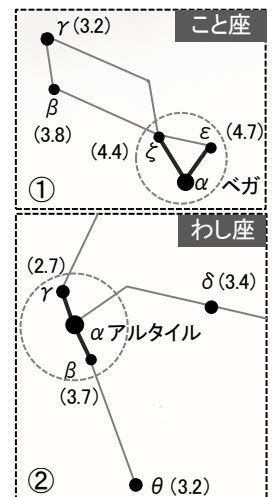
【ひこ星】(牛の世話をする青年。中国では牽牛(けんぎゅう))…わし座のα星アルタイル。ベガと同じく白色で、明るさは0.8等級。地球から約17光年の距離にあり、太陽の約2倍の大きさ。自転周期が約9時間という超高速で回転している(太陽の自転周期は約25日)ため、潰れた形状になっていることがわかっています。

～ワンポイント「ベガ」と「アルタイル」もペアの星～

「ベガ」…アラビア語の「落ちる鷲」が由来。右図のとおり、ベガとε星、ζ星をつなぐ“V”の並びを、翼を閉じて急降下する鷲と見立てたもの。

「アルタイル」…アラビア語の「飛ぶ鷲」が由来。右図のとおり、α星の両脇のβ星とγ星を繋いだ並びを、翼を広げて飛ぶ鷲の姿と見立てたもの。

つまり、ともに鷲の姿が由来であり、七夕同様、ペアの星と見られていたことが分かります。



※()内の数字は等級を表す
(StellaNavigator/AstroArts
をもとに作成)